

学生の PC 離れの傾向とタッチタイプ技能獲得の状況 (2)

- 継続して実施するアンケート調査と学部間の差の検討のための予備的調査 -

匂坂智子*1) *3), 大塚秀治*2), 高辻秀興*2), 神田彰信*3)

*1) 麗澤大学 外国語学部, *2) 麗澤大学 経済学部, *3) 麗澤大学 情報教育センター

tsagisak@reitaku-u.ac.jp, ohtsuka@reitaku-u.ac.jp, tak@reitaku-u.ac.jp,
akanda@ad.reitaku-u.ac.jp

On the trend of the students' lack of Interest in PC use and the state of mastering touch typing skills

- Based on the continuously questionnaire surveys in the first-year class and the preliminary
survey of the differences between different Faculties -

Tomoko Sagisaka *1) *3), Hideharu Ohtsuka *2), Hideoki Takatuji *2), Akinobu Kanda *3)

*1) Faculty of Foreign Studies, Reitaku University.

*2) Faculty of Economics and Business Administration, Reitaku University.

*3) Center for Information Technology and Education, Reitaku University.

概要: 本研究は継続的に行っているアンケート調査の結果をまとめ、経年的に比較したものである。麗澤大学経済学部では 2012 年度から情報教育に関するアンケート調査を継続的に行うこととし、入学前のコンピュータ利用環境・利用経験を問うと同時に情報リテラシー科目に関する意識調査を行ってきた。また、学部新設当初より TypeQuick を用いてタイピングスキル習得のための教育を行ってきた。前報では大学入学時の PC 利用状況と TypeQuick を用いた練習の記録から、その学習傾向を分析した。本研究では学部間の比較を行うための方策の検討、入学前のタイピング方式の比較を行うための予備的研究を行うことを目的としたアンケートを追加した。その結果、これまでと同様の傾向が示されるとともに、練習傾向など学部間の差も明らかになった。

キーワード: 情報リテラシー教育, タッチタイピング, TypeQuick, アンケート調査

1. はじめに

これまで我々は、麗澤大学*1 経済学部の長期アンケート調査をもとに、学生の PC 離れの傾向が顕著となっていることをあらためて示してきた(大塚・高辻・匂坂・矢野,2016. [1],大塚・高辻・矢野等 2018[2])。本研究では、これらの調査を継続的に行うことで、前報までの分析で明らかになった PC 利用傾向の変化をさらに確認する。併せて、本学のもう一つの学部である外国語学部の状況を今後の調査に反映させるべく予備的な調査検討を行う。予備的検討に際しては、入学前の PC 利用状況やスマートフォンなど他のデバイスでの文字入力の方法がタッチタイピングを習得する際に及ぼす効果などを検証する方法を模索するものとする。

*1 外国語学部と経済学部の 2 学部で構成され、学部定員は各 300 名で、学部生は 4 学年で約 2,800 名。教育用 PC は 486 台。<http://www.reitaku-u.ac.jp>

*2 TypeQuick は Typequick 社の登録商標で、国内での販売・サポートは日本データパシフィック株式会社が行っている。
<https://www.datapacific.co.jp/typequick/index.html>

2. タッチタイプと TypeQuick

タッチタイプは通常のキーボードを両手でキートップを見ないで操作するスキルを指す。最近では若者の PC 離れ、キーボード離れが顕著であるというが、ビジネスシーンでは依然としてタイピングスキルは重要であるといわれる(例えば[3],[4])。本学では、タッチタイプのスキル習得は情報リテラシーの基本であると考え、TypeQuick*2 を用いて入学当初から教育を行っている。TypeQuick は 1982 年にオーストラリアの Typequick 社により開発された CMI タイプのタイピング習得ソフトで広く世界各国で利用されている。学習状況が詳細に記録され、補強すべき部分を繰り返し実施することで、短時間のうちにタッチタイピングを可能とする設計となっている。本学では 1993 年の学部開設当初より FD 版の TypeQuick 学校研修キットを用いており、現在ではネットワークサーバ版を使用している。これは、クライアントソフトが導入されている PC であれば、ライセンス数の範囲で常時利用することができる。サーバは富士通社製 PRIMERGY RX1330 M3(CPU Xeon®E3-1225v6, Mem 4GB,

OS Windows Server 2016)で サイトライセンス数は同時接続 200 台となっている。

2.1 練習の方法

学生は学内の PC で練習する場合、設備面・費用面の負担はない。ドメイン管理となっているため PC にサインイン後であれば、ユーザ認証は不要でクライアントソフトを起動すればすぐに練習を始められる。練習は PC 自習室や授業の無い空き教室で各自のペースで行うことができる。練習結果はサーバに保存され、前回の練習の続きから取り組むことができる。ネットワーク版は学内のどの PC からでも利用できるが、自宅等学外の PC では練習ができない。その必要がある者は USB 版の学校研修キットを入手して練習を行い、適宜学内の PC からサーバへ練習記録の同期という操作を行う。サーバ上のデータは随時 tqadmin と呼ばれる管理ツールで確認と評価ができる。同時アクセス数契約のため、ユーザの洗い替えの必要はない。このため、本学では卒業まで TypeQuick によってタイピング練習を続けることが可能となっている。さらに、練習データは卒業後も保存される。

2.2 成績評価の方法と認定証

本学におけるタッチタイピングの位置づけは入学後最初に取り組むべき基礎的スキルであり、情報基礎科目の単位認定のための必須項目である。評価基準は、前報[2]で報告した技能認定証の効果を勘案して原則 TQ-Level 取得以上とした。TQ-Level は 20WPM かつ正確率 93%以上を以て認定されるものである。WPM とは 1 分間あたりの単語数で 1 語あたり 5 打として換算される。20WPM は「タッチタイプの基礎ができているレベル」とされ、昨年までの基準 30WPM より大きく引き下げた。しかし、30WPM の速度は実際にはかなり高いレベルであり、初学者には習得が難しい場合が多いため、実質的には大きなスキルダウンとはならないことが想定された。

認定証は TypeQuick を国内で販売するデータパシフィック(株)が Typequick 社の公認を得て発行している。なお、認定レベルは TQ, SILVER, GOLD の 3 段階あり、SILVER レベル以上が企業等学外で評価を得られる水準と思われる。初年度に最低でも TQ レベルに到達することで、練習を上級学年で継続することも期待できる。本学では 2018 年度より団体申請を開始し、2019 年度からは前述のように成績評価基準としたため TQ レベルも申請を行い、1 学期末の申請では TQ レベル 452 名、SILVER レベル 95 名、GOLD レベル 16 名の合計 563 名の認定を受けた。

3. アンケート調査の方法

本研究は、従来の調査に加えて学部間の比較、スマートフォン等での入力方法の調査・比較のための予備的調査を目的としている。調査はアンケートによるものと TypeQuick の練習データによるクロス集計を基本とする。本研究で追加するアンケート調査を予備調

査と呼び、前報までの調査が継続しているため、前報で定義した調査番号は変更しないものとする。つまり、経済学部の 1 年次 1 学期に行われる基礎科目において、学期当初(4 回目)に行うものと、期末試験時に行うものの 2 回分を用いる。学期当初のものを調査 1、期末試験で行うものを調査 2 と呼ぶ。

3.1 予備調査

これまで調査は経済学部のみ、1 年生全員に実施してきたが、仮に学部間に差があるのであれば今後の調査の在り方を検討する必要がある。そこで今回、筆者らが担当する外国語学部 2 クラス、経済学部 2 クラスで同時期に同じ調査を行い、その後の練習状況を学部間で比較することとした。また、入学時点での PC の利用状況や文字入力の方法等についても調査を行うこととした。

アンケート項目は全 14 項目で、ラジオボタンによる選択方式で、その他入学前に行っていたタイピングソフトの名称などテキストボックス型の項目が数項目あった(質問項目については付表 0 参照)。

予備調査の実施は Moodle 上に作成したアンケートシート(図 1 参照)で、1 年次 1 学期に配当される情報リテラシー科目(学部ごとに名称が異なる)で行う。実施は、第 2 回目の授業内で TypeQuick の解説と初期設定後、最初の練習を終えた段階でアンケートに回答するという方法で行った。

3.2 調査 1

前報と同様で、入学前のコンピュータ利用状況について調査するものである。調査は、1 年前期の必修科目の授業内で説明を行い、回答は Web ブラウザを用いて各自のペースで指定された期日までに入力を行うものである。説明の時期は経済学部の全クラス共



図 1. 予備調査のアンケート画面

予備調査の対象被験者は教材用 Moodle サーバ「Moodle3」上でアンケートに回答する。あらかじめ、タッチタイプについての解説が行われ、その後 TypeQuick の説明・設定・初期練習を行う。アンケート時には、初回練習で表示された速度と正確率も記述する。アンケートは記名方式となるが、成績に影響しないことが教示される。

通で、入学後学内の PC の利用に慣れた第 4 週目の授業時に行う。アンケートは課題として提示されるが、強制ではなく単位履修のための必須課題ではないことがアンケート内で教示される。

3.3 調査 2

こちらも前報と同様で、経済学部 1 年生の期末試験時に試験問題中に印刷して実施する。質問項目は 5 項目のみで、試験時間内にマークシート方式で回答する。内容は履修後の印象や資格への関心を問うもので、時間に余裕がない場合には回答しなくてもよいと指示が記載されている。

4. 結果と考察

前報から継続するアンケート結果を従来通り調査 1、調査 2 として付表 1,2 および図 2 に従来通りまとめ、本研究で取り上げた予備調査を付表 0 として 4 頁から 8 頁にまとめた。予備調査の有効回答数は外国語学部 82、経済学部 75 の計 157 であった。これらについて、学部別・質問項目別に集計したものが付表 0 となる。誌面の都合で一部の結果は割愛し、質問項目のみ掲載している。図 3 は予備調査の問 3「文字入力スピードは？」に対して回答した主観的評価別に初期速度、練習時間(分)、学期末のタイピング速度について学部ごとにまとめたものである。練習時間に学部間の差が認められ、外国語学部生は主観的に文字入力スピードが遅いと評価したもののほど練習時間が長いことが示された。一方、経済学部では主観的に入力速度が速いと評価した群の練習時間の方が長い傾向を示し、学部間の練習に取り組む姿勢の違いが顕著となった。学部間の差は TypeQuick の認定証取得割合でも顕著で、付表 0-表 1 に示すように、単位取得率は両学部間に差はないが、認定数では外国語学部 90%、経済学部 58%(いずれも重複認定を除いた実数による)と大きな違いが観察された。このことから、外国語を専攻する学生には、タッチタイピングへの動機付けが容易であることが示唆される。

調査 1 については、昨年までの結果に 2019 年度の経済学部 1 年生の回答者 342 名 (TypeQuick については留学生を除く 303 名) 分のデータを加えてまとめたものである。概要を図 2 に示す。また、各質問項目と回答の比率を表にまとめ、網掛けの選択項目をグラフで示したものを付表 1 に示す。ほぼ全ての項目で従来と同様傾向を示した。PC の利用率はさらに低下していることが示され、自身の Web ページやブログ開設に関する関心も低下傾向を示している。高校の教科情報科目の履修割合が昨年と同様に増加しており、入学者の母集団が変化している可能性が示唆される。

調査 2 では情報技術に関する資格を取得したい者の割合が調査開始後初めて 70%を超えた(調査 2-問 3)。また、タッチタイピングについては期末試験の段階で約 80%の者が「まあまあできる」という状態になっていることを示した。なお、結果の詳細は会場で示す。

5. まとめと今後の課題

従来から我々は、学生の PC の利用動向とタッチタイプスキルの獲得について、継続的に行っているアンケート調査と TypeQuick の練習結果から定量的に分析を行ってきた。本研究では過去 10 年分の練習記録とともに、学部間の比較検討を行うための予備的アンケート調査を実施した。アンケート結果から主観的スキルとその後の練習傾向に学部間の差があることが明らかとなった。今後、タイピングスキル獲得について学習者、とりわけ学部間の差について、さらに定量的に分析を行うことが重要であろう。

謝辞

日本データパシフィック(株)の TypeQuick サポートデスクの皆様にご丁寧なサポートを頂いた。

参考文献

- [1] 大塚秀治, 高辻秀興, 匂坂智子, 矢野孝三, 「麗澤大学経済学部におけるコンピュータ利用に関する状況の変化について - ,2016 年度初年次教育で継続実施するアンケート調査より -」, 大学 ICT 推進協議会 2016 年度年次大会 [TP06], <https://reg.axes.jp/pdf2016/TP06.pdf>, 2016.
- [2] 大塚秀治, 高辻秀興, 矢野孝三, 寺尾雄二, 熊谷将也, 「学生の PC 離れの傾向とタッチタイプ技能獲得の状況-継続して実施するアンケート調査と TypeQuick の練習記録より -」, 大学 ICT 推進協議会 2018 年度年次大会 [MP44], 2018.
- [3] 本田幸久, 若者のパソコン離れ, 「新たなデジタルデバйдに」 -橋元良明・東京大学大学院情報学環教授に聞く - 日経新聞, 2016/3/13.
- [4] 本田幸久, スマホ世代の PC 知らず スキル低下、職場で波紋, 日経電子版, 2016/3/13.

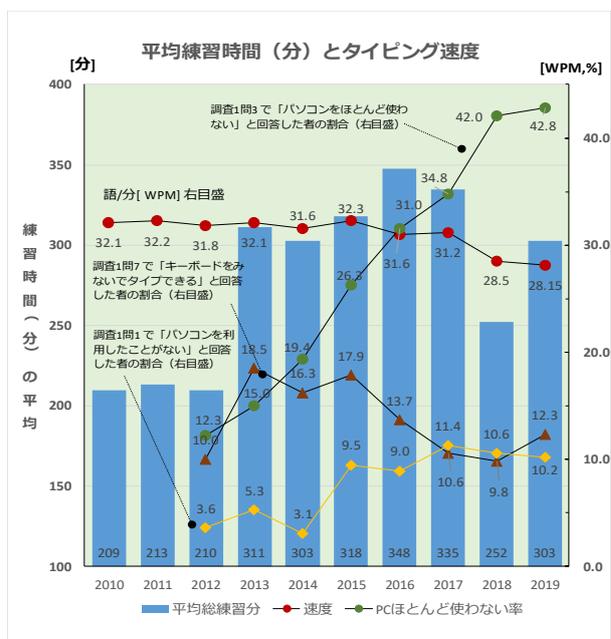
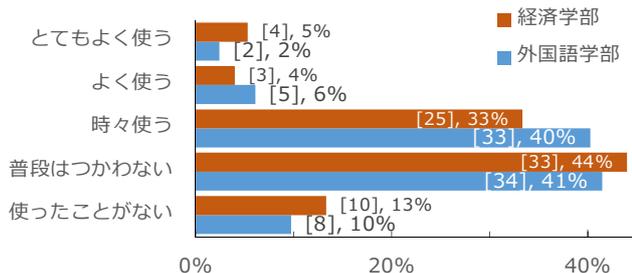


図 2. 年度別練習時間とタイピング速度の関係
2010 年から 2019 年 8 月末までの経済学部生のデータを用いて年度別に練習時間を棒グラフで、タイピング速度を折れ線で示したものである。さらに、2012 年度からは調査 1 のパソコンやタイピングの状況を重ねてプロットしている。パソコン離れは進んでいるが、最終的に到達する平均速度はほぼ一定であることから、TypeQuick の高い練習効果であると思慮される。

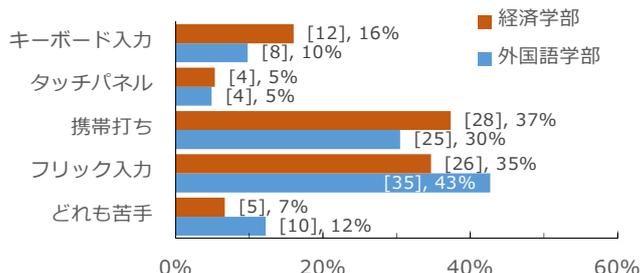
付表0 予備調査（文字入力の方法と学部間の差検討）の集計結果

調査は外国語学部2クラス（n=82）・経済学部2クラス（n=75）で行われた。ここでは誌面の都合で主な項目を示す（割愛は網掛け部分参照）。

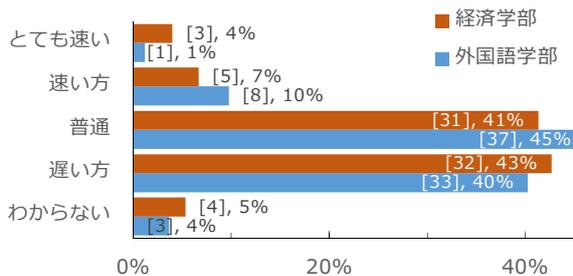
Q1 あなたは普段パソコンを使いますか？



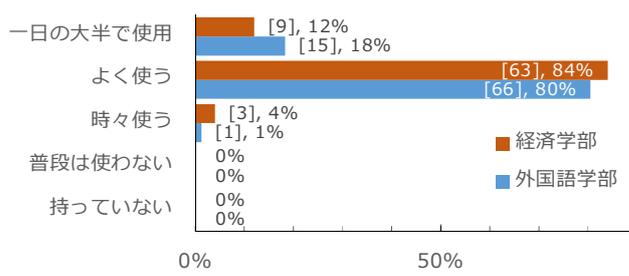
Q2 文字入力の方法はどれが一番楽ですか？



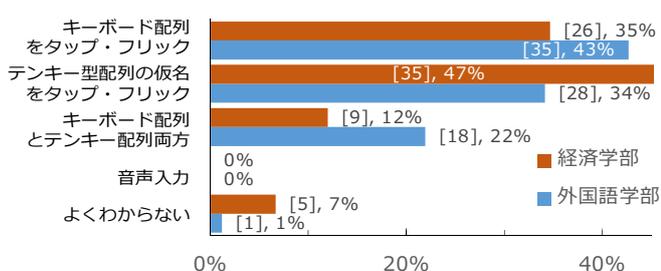
Q3 文字入力のスピードは？



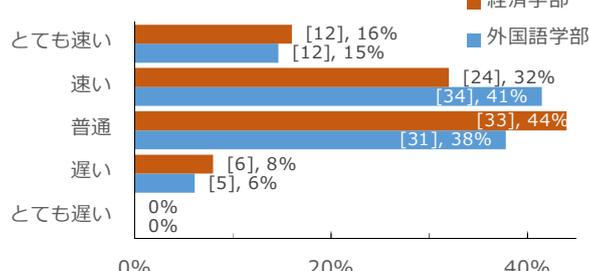
Q5 あなたはスマートフォンを使いますか？



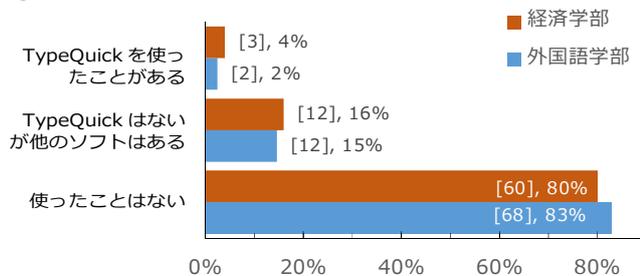
Q6 スマートフォンの文字入力の方法は？



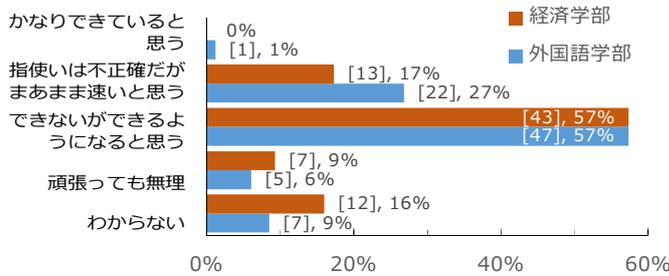
Q7 スマートフォンでの文字入力のスピードは？



Q11 タイピング練習ソフトの使用経験



Q12 現時点でパソコンのタッチタイピングは？



誌面の都合で割愛した質問項目

- Q4 キーボード入力の方法（片手・両手等）
- Q8 スマートフォンの文字入力操作（片手・両手）
- Q9 iPadやAndroid等のタブレットの使用状況
- Q10 iPadやAndroid等のタブレットの文字入力の方法

付表0 表1 2019年度 単位取得状況とTQ認定レベル

	外国語	経済	計			
履修者数	339	366	705			
単位取得者	304	329	633			
単位取得率	90%	90%	90%			
認定レベル	外国語	構成比	経済	構成比	計	構成比
GOLD	7	2%	3	1%	10	2%
SILVER	46	15%	38	18%	84	16%
TQ	253	83%	170	81%	423	82%
合計	306	100%	211	100%	517	100%
認定率	90%		58%		73%	

TQ認定は重複認定者29人を除く

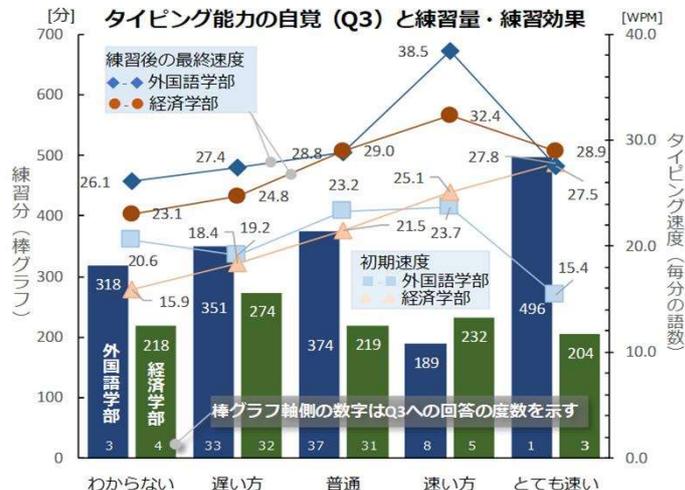


図3 タイピングスピードの自覚と練習量・練習効果

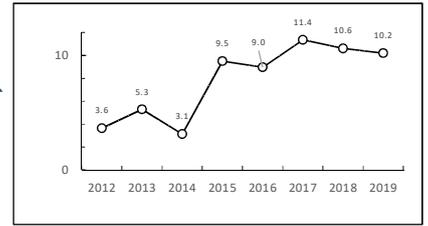
アンケート項目Q3の回答と回答時のタイピング速度（アンケート時に手入力）したものと、その後学期末まで記録した練習時間（分）と速度（WPM）の関係を示す。練習時間は学部間で有意で、外国語学部は経済学部よりよく練習したことが示された。

付表1 調査1（1学期配当履修必修科目「情報リテラシー」;Webアンケート;2012-2019年度分）の集計結果

(1) 経済学部1年次生の毎年4月時点の状況（第4回目授業で解説）
 (2) 表内の数値は、タテの構成比%, または回答率%
 (3) 表の最下段の「回答件数」は、回答した学生の総数

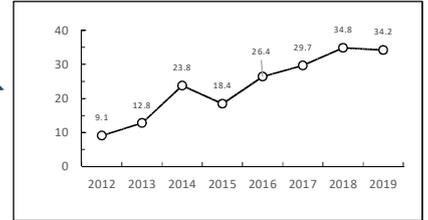
調査1-問1 パソコンを利用したことがありますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. まったく利用したことがない	3.6	5.3	3.1	9.5	9.0	11.4	10.6	10.2	
2. 少し利用したことがある	50.5	47.6	62.5	59.8	60.4	64.8	67.8	72.6	
3. よく利用していた	45.9	47.1	34.4	30.7	30.7	23.8	21.6	17.6	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



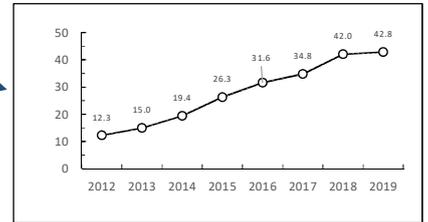
調査1-問2 自宅, 寮, または下宿でパソコンを使っていましたか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. 使っていない	9.1	12.8	23.8	18.4	26.4	29.7	34.8	34.2	
2. 家族や知人と共用で使っていた	54.6	51.5	46.9	53.6	48.1	46.9	45.8	45.5	
3. 自分専用のパソコンを使っていた	36.4	35.7	29.4	27.9	25.5	23.4	19.3	20.3	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



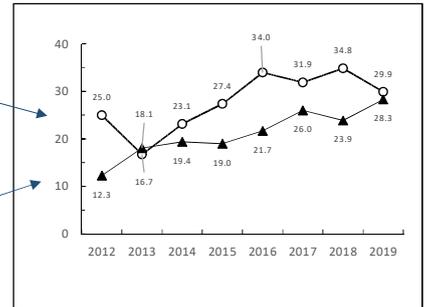
調査1-問3 どれくらいの頻度でパソコンを使っていましたか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. ほとんど使わない	12.3	15.0	19.4	26.3	31.6	34.8	42.0	42.8	
2. 月に1, 2回程度	18.6	15.9	25.0	24.6	30.2	33.0	28.0	28.3	
3. 週に1, 2回程度	34.1	31.7	31.3	27.9	21.7	17.6	21.2	16.0	
4. ほぼ毎日	35.0	37.4	24.4	21.2	16.5	14.7	8.7	12.8	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



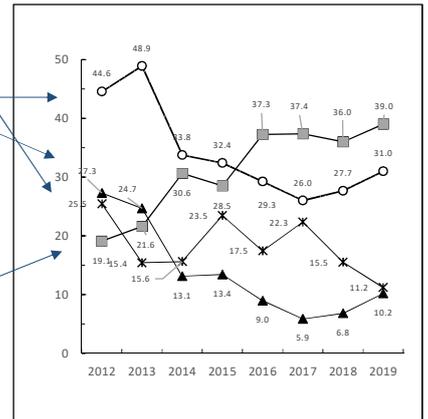
調査1-問4 どれくらいの頻度でWWWを使っていましたか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. ほとんど使わない	25.0	16.7	23.1	27.4	34.0	31.9	34.8	29.9	
2. たまに使う	26.4	18.5	22.5	28.5	17.0	23.4	22.3	15.5	
3. 2, 3日に一度程度	9.6	15.4	13.1	9.5	9.9	5.9	8.0	9.6	
4. ほぼ毎日使う	26.8	31.3	21.9	15.6	17.5	12.8	11.0	16.6	
5. WWWの意味がわからない	12.3	18.1	19.4	19.0	21.7	26.0	23.9	28.3	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



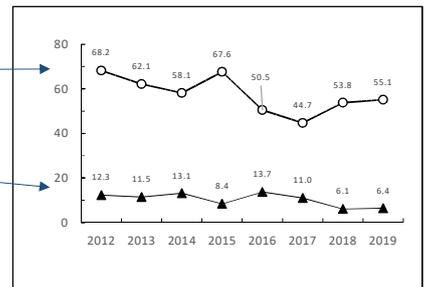
調査1-問5 どのようにWWWを利用していましたか？当てはまる選択肢をいくつでも選んでください。

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. 電子メール	25.5	15.4	15.6	23.5	17.5	22.3	15.5	11.2	
2. ホームページの閲覧	44.6	48.9	33.8	32.4	29.3	26.0	27.7	31.0	
3. ブログ閲覧	27.3	24.7	13.1	13.4	9.0	5.9	6.8	10.2	
4. 検索エンジンでの情報検索	32.3	31.7	25.6	26.8	23.1	21.2	21.2	30.5	
5. インターネット・ショッピング	35.5	40.1	28.1	27.9	23.6	20.9	21.2	23.5	
6. 自分のホームページの開設	7.7	4.0	2.5	3.4	2.8	1.1	1.1	1.6	
7. 自分のブログの開設	5.9	7.5	4.4	3.4	3.3	1.5	2.3	0.5	
8. その他	10.0	12.3	15.6	13.4	15.1	12.1	11.7	9.6	
9. WWWの意味がわからない	19.1	21.6	30.6	28.5	37.3	37.4	36.0	39.0	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



調査1-問6 日本の高等学校でどのような「情報」の授業を受けことがありますか？

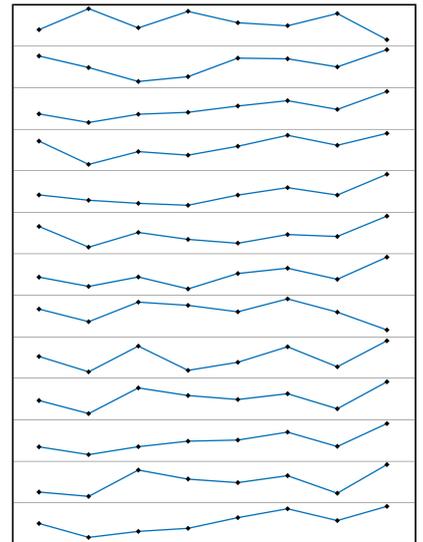
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. 情報A	68.2	62.1	58.1	67.6	50.5	44.7	53.8	55.1	
2. 情報B	6.8	10.1	11.3	8.9	5.7	21.2	21.2	24.1	
3. 情報C	11.4	8.4	10.6	6.2	2.4	19.8	14.8	10.7	
4. その他の科目	7.7	13.2	11.9	14.5	29.3	12.5	12.9	14.4	
5. 情報の授業を受けたことはない	12.3	11.5	13.1	8.4	13.7	11.0	6.1	6.4	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



(続く)

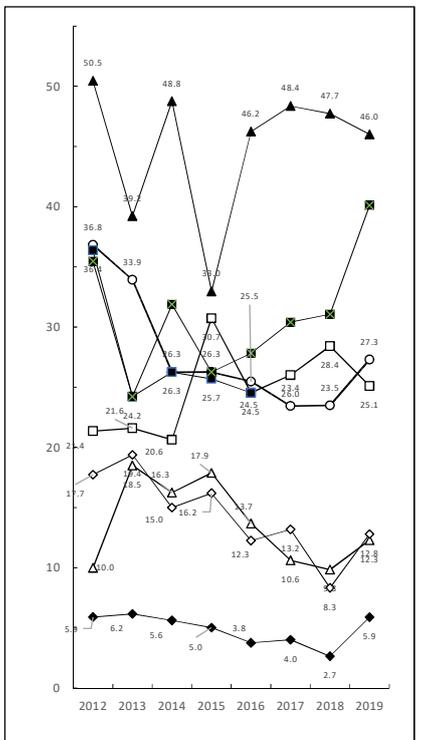
調査1-問8 あなたはワープロソフトでどのようなことができますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. 使えない	19.6	24.7	20.0	24.0	21.2	20.5	23.5	17.1	
2. 文字の入力, 削除, 修正	75.9	70.9	65.0	67.0	75.0	74.7	71.2	78.6	
3. フォントの変更	54.6	50.2	54.4	55.3	58.5	61.2	56.8	65.8	
4. サイズの変更	65.5	53.3	60.0	58.1	62.7	68.5	63.3	69.5	
5. 中央揃え	60.0	56.4	54.4	53.1	59.9	64.8	59.8	73.8	
6. 箇条書き	46.4	37.4	43.8	40.8	39.2	42.9	42.0	50.8	
7. 行間の変更	43.6	38.3	43.8	36.9	45.8	48.7	42.4	55.1	
8. 段組	27.3	21.2	30.6	29.1	25.9	32.2	25.8	17.1	
9. 表の作成	35.5	27.8	40.6	28.5	32.6	40.3	30.3	43.3	
10.図形描画	26.4	19.4	33.1	29.1	26.9	30.0	22.0	36.4	
11.他のソフトで作った図の挿入	18.6	13.7	18.8	22.4	23.1	28.2	18.9	33.7	
12.ページ余白の設定	25.9	23.8	36.9	32.4	30.7	34.1	25.4	39.6	
13.印刷	54.1	48.0	50.6	52.0	56.6	60.4	55.3	61.5	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



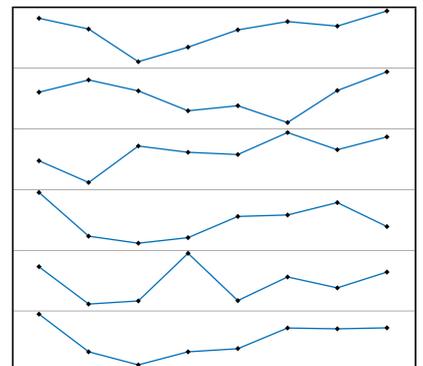
調査1-問7 あなたはパソコンでどんなことができますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. 何も使えない	21.4	21.6	20.6	30.7	24.5	26.0	28.4	25.1	
2. キーボードを見ないでタイプできる	10.0	18.5	16.3	17.9	13.7	10.6	9.8	12.3	
3. ゲームソフトをさせる	36.8	33.9	26.3	26.3	25.5	23.4	23.5	27.3	
4. ワープロソフトをさせる	50.5	39.2	48.8	33.0	46.2	48.4	47.7	46.0	
5. 表計算ソフト (Excel等) をさせる	36.4	24.2	26.3	25.7	24.5	30.0	25.4	22.5	
6. プレゼンテーションソフトをさせる	35.5	24.2	31.9	26.3	27.8	30.4	31.1	40.1	
7. データベースソフトをさせる	5.5	4.0	3.8	3.9	2.8	1.1	3.0	3.7	
8. デジカメのファイルを移動できる	33.6	32.2	27.5	25.1	24.5	25.3	21.2	25.1	
9. 画像編集用ソフトをさせる	17.7	19.4	15.0	16.2	12.3	13.2	8.3	12.8	
10.ビデオ編集用ソフトをさせる	9.6	11.5	12.5	9.5	9.0	8.8	6.4	10.2	
11.DTP関連ソフトをさせる	1.8	1.8	3.1	2.2	1.4	2.2	0.8	2.7	
12.圧縮・解凍ソフトをさせる	20.0	22.5	11.9	15.1	14.6	11.4	10.6	11.8	
13.コンピュータ言語をさせる	5.9	6.2	5.6	5.0	3.8	4.0	2.7	5.9	
14.FTPソフトをさせる	1.8	0.9	1.3	2.8	1.4	1.1	0.8	2.7	
15.TELNETソフトをさせる	0.9	1.3	1.9	1.7	1.4	0.4	0.4	1.6	
16.ファイルの編集操作ができる	48.2	46.7	45.0	40.8	41.5	40.7	35.6	46.0	
17.USBメモリをさせる	39.6	50.7	40.6	40.8	34.9	36.3	31.8	39.0	
18.DVDなど光学ディスクをさせる	36.4	33.5	30.6	30.2	25.9	21.2	14.0	18.2	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



調査1-問9 次の文の中から正しいものをすべて選んでチェックしてください。 ○×の正答率%

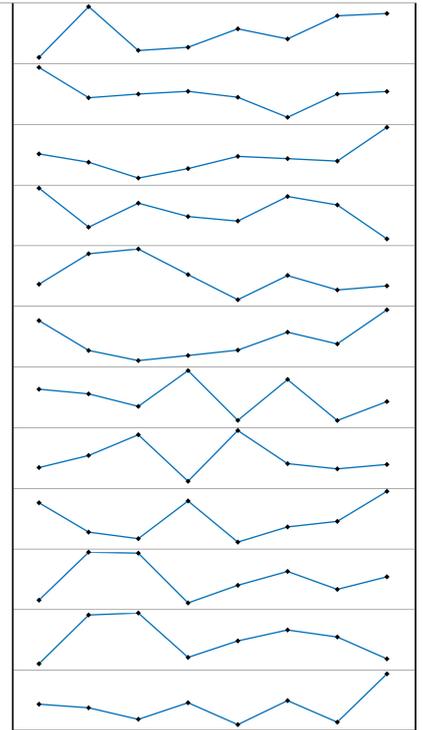
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1.URLはホームページの所在を示している ○	72.7	69.6	60.0	64.3	69.3	71.8	70.5	74.9	
2.電子メールでは①, ②, ③のような文字を使用してもよい ×	82.3	84.6	82.5	78.8	79.7	76.6	82.6	86.1	
3.友人からもらったメールを無断で第三者に転送してもよい ×	94.6	92.1	96.3	95.5	95.3	97.8	95.8	97.3	
4.知らない人からの電子メールは無視した方がよい ○	68.2	61.7	60.6	61.5	64.6	64.8	66.7	63.1	
5.電子メールの表題 (件名) にはいつも「こんにちは!」と書くのが礼儀である ×	88.6	81.9	82.5	91.1	82.6	86.8	84.8	87.7	
6.電子メールからコンピュータ・ウィルスに感染することがある ○	75.9	68.7	66.3	68.7	69.3	73.3	73.1	73.3	



(続く)

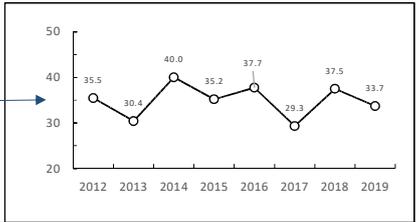
調査1-問9 次の文の中から正しいものをすべて選んでチェックしてください。 ○×の正答率% (続き)

7.ホームページの掲示板は匿名のものなので何を書いてもよい ×	92.7	95.6	93.1	93.3	94.3	93.8	95.1	95.2	
8.パスワードは、誕生日、氏名、ユーザIDなど忘れないような文字列にするとよい ×	89.6	87.2	87.5	87.7	87.3	85.7	87.5	87.7	
9.パスワードを忘れた人には自分のアカウントを貸してあげるのが道徳である ×	97.3	96.9	96.3	96.7	97.2	97.1	97.0	98.4	
10.パソコンの利用が終わったら電源ボタンをしっかりと押して電源を切るのがよい ×	77.7	72.3	75.6	73.7	73.1	76.6	75.4	70.6	
11.「クリック」とはキーボード上のEnterキーを押すことである ×	85.9	91.6	92.5	87.7	83.0	87.5	84.8	85.6	
12.「ドラッグ」とはボタンを押しながらマウスを移動させる操作である ○	66.8	60.8	58.8	59.8	60.9	64.5	62.1	69.0	
13.1byteは8bitからなる ○	26.8	26.0	23.8	30.2	21.2	28.6	21.2	24.6	
14.「全角」というのは漢字の文字表示を意味する ×	71.4	72.7	75.0	69.8	75.5	71.8	71.2	71.7	
15.KB(キロバイト)やMB(メガバイト)は情報の量を表す単位である ○	62.7	56.4	55.0	63.1	54.3	57.5	58.7	65.2	
16.日本語の入力を開始するときはCTRLキーを押す ×	94.6	96.9	96.9	94.4	95.3	96.0	95.1	95.7	
17.CPUはコンピュータ内部で情報を記憶するための装置である ×	69.6	80.2	80.6	71.0	74.5	76.9	75.4	70.6	
18.Windows7というのはオペレーティング・システムの一つである ○	30.9	30.0	26.9	31.3	25.5	31.9	26.1	39.0	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



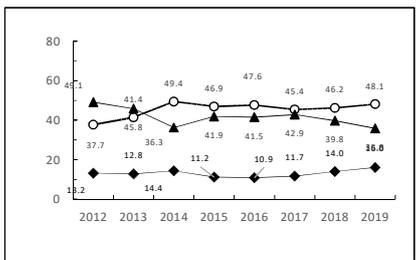
調査1-問10 麗澤大学経済学部は他と比べて情報教育に力を入れている方だと思いますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. そう思う	35.5	30.4	40.0	35.2	37.7	29.3	37.5	33.7	
2. どちらでもない	32.3	30.4	24.4	27.9	31.1	31.1	33.0	27.8	
3. そう思わない	6.8	11.0	6.9	5.0	4.3	9.2	5.3	8.6	
4. わからない	25.5	28.2	28.8	31.8	26.9	30.4	24.2	29.9	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



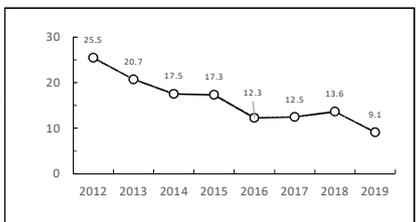
調査1-問11 あなたは、コンピュータの操作や情報技術について、麗澤大学の授業を通じてどのレベルまで到達したいと考えていますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. 単位が取ればよい	37.7	41.4	49.4	46.9	47.6	45.4	46.2	48.1	○
2. さらに履修して知識を深めたい	49.1	45.8	36.3	41.9	41.5	42.9	39.8	35.8	▲
3. 情報技術者の資格を取りたい	13.2	12.8	14.4	11.2	10.9	11.7	14.0	16.0	◆
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



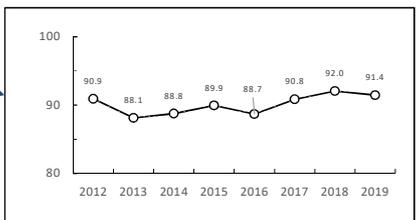
調査1-問12 あなたは、自分のホームページやブログを開発したいと思いますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. そう思う	25.5	20.7	17.5	17.3	12.3	12.5	13.6	9.1	
2. どちらでもない	26.8	23.8	24.4	19.6	19.8	16.1	22.0	19.8	
3. そう思わない	36.8	45.8	46.9	50.8	58.5	63.0	57.2	59.4	
4. わからない	10.9	9.7	11.3	12.3	9.4	8.4	7.2	11.8	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



調査1-問13 これからの社会では情報技術を身に付けておくことが大事だと思いますか？

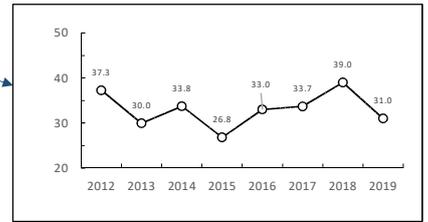
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. そう思う	90.9	88.1	88.8	89.9	88.7	90.8	92.0	91.4	
2. どちらでもない	3.2	5.3	5.0	7.8	7.1	5.5	3.8	5.3	
3. そう思わない	3.2	2.6	2.5	1.7	1.4	0.4	1.5	0.5	
4. わからない	2.7	4.0	3.8	0.6	2.8	3.3	2.7	2.7	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



(続く)

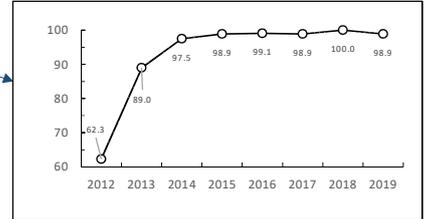
調査1-問14 あなたは将来、情報技術を活かせる職業に就きたいと思いますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. そう思う	37.3	30.0	33.8	26.8	33.0	33.7	39.0	31.0	
2. どちらでもない	37.7	34.8	40.0	35.2	33.5	33.7	36.4	34.2	
3. そう思わない	9.1	16.3	14.4	17.3	15.1	18.3	11.4	14.4	
4. わからない	15.9	18.9	11.9	20.7	18.4	14.3	13.3	20.3	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722



調査1-問15 あなたはスマートフォンを持っていますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
1. はい	62.3	89.0	97.5	98.9	99.1	98.9	100.0	98.9	
2. いいえ	37.7	11.0	2.5	1.1	0.9	1.1	0.0	1.1	
回答件数	220	227	160	179	212	273	264	187	1722

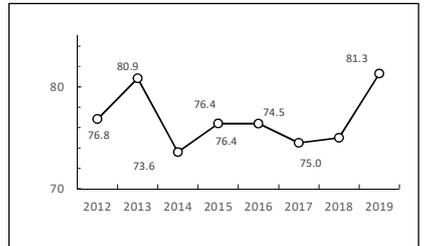


付表2 調査2（1学期配当履修必修科目「情報リテラシー」；期末試験時；2012-2018年度分）の集計結果

- (1) 経済学部1年次生1学期末試験時に実施 マークシート方式
- (2) 表内の数値は、タテの構成比%，または回答率%
- (3) 表の最下段の「合計」は、回答した学生の総数

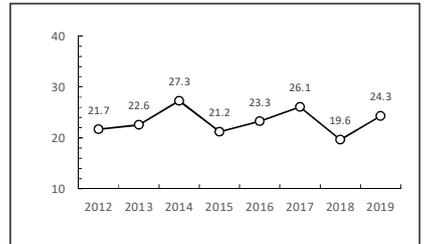
調査2-問1. この授業を履修して全体としてよかったですか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
よかった	76.8	80.9	73.6	76.4	76.4	74.5	75.0	81.3	
どちらでもない	18.0	18.3	22.1	18.4	18.4	21.8	11.9	15.5	
よくなかった・無回答	5.1	0.9	4.3	5.2	5.2	3.7	13.1	3.2	
合計	272	235	231	250	305	353	330	342	2318



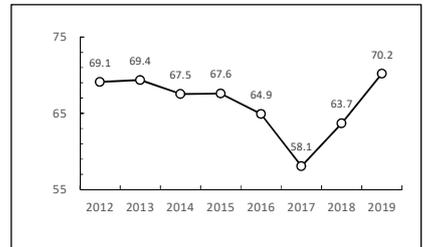
調査2-問2. この内容であれば、授業を受けなくとも自分で情報リテラシーを習得できると思いますか？

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
自分でできる	21.7	22.6	27.3	21.2	23.3	26.1	19.6	24.3	
自分だけでできない	75.4	75.3	69.7	72.8	73.1	72.2	68.2	74.6	
無回答	2.9	2.1	3.0	6.0	3.6	1.7	12.2	1.2	
合計	272	235	231	250	305	353	330	342	2318



調査2-問3. 情報技術に関する資格を何か取得したいと思いますか？

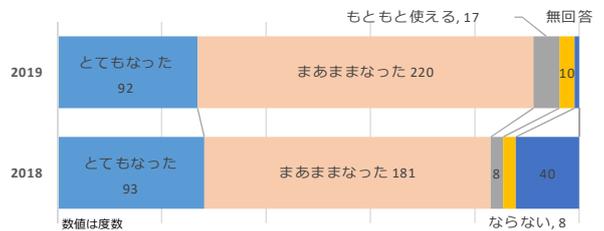
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
取得したい	69.1	69.4	67.5	67.6	64.9	58.1	63.7	70.2	
取得したいと思わない	26.5	28.9	30.3	28.4	33.1	40.2	24.4	29.2	
無回答	4.4	1.7	2.2	4.0	2.0	1.7	11.9	0.6	
合計	272	235	231	250	305	353	330	342	2318



調査2-問4. この授業を履修してPCを使うことができるようになりましたか？

	2018	比率	累積	2019	比率	累積
とてもなった	93	28.2	28.2	92	26.9	26.9
まあまあなった	181	54.8	83.0	220	64.3	91.2
もともと使える	8	2.4	85.5	17	5.0	96.2
ならない	8	2.4	87.9	10	2.9	99.1
無回答	40	12.1	100.0	3	0.9	100.0
合計	330	100		342	100	

問PCを使うことができるようになりましたか？



調査2-問5. タッチタイピングはできるようになりましたか？

	2018	割合	累積	2019	割合	累積
なった	83	25.2	25.2	79	23.1	23.1
まあまあなった	168	50.9	76.1	207	60.5	83.6
もともとできる	11	3.3	79.4	18	5.3	88.9
ならない	25	7.6	87.0	28	8.2	97.1
無回答	43	13.0	100.0	10	2.9	100.0
合計	330	100		342	100	

タッチタイピングはできるようになりましたか？

